

# AucSale

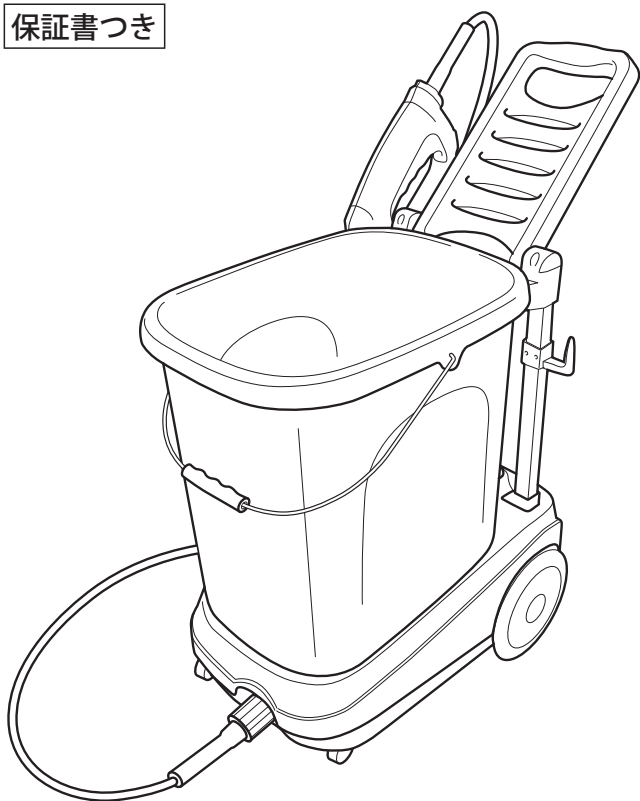
## 移動が楽な高圧洗浄機

# AQUAMOOVE

## APW-165

# 取扱説明書

保証書つき



このたびは移動が楽な高圧洗浄機 AQUAMOOVE APW-165  
をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。

この商品を安全に正しくお使いいただくために、お使いになる前  
にこの取扱説明書をよくお読みになり十分に理解してください。

お読みになった後は、お手元に置いて保管してお使いください。

※ この取扱説明書の内容は改善のため、予告なく変更することがあります。

お  
使  
い  
に  
な  
る  
前  
に

安全上のご注意 ..... 2

各部のなまえ ..... 4

お使いになる前の準備 ..... 5

使いかた ..... 9

お手入れ/保管のしかた ... 13

故障かなと思ったら ..... 16

仕様 ..... 18

アフターサービス ..... 19

お客様相談窓口 ..... 19

保証書 ..... 20

ご  
愛  
用  
の  
手  
引  
き

### ※凍結注意

長期または冬場に保管する際  
は、必ず水抜きを行い、凍結し  
ない室内に保管してください。



この製品は家庭用です。  
業務用にはお使いにならない  
でください。

# 安全上のご注意










必ずお守りください

ここに示した注意事項は、お使いになるかたや他のかたへの危害と財産への損害を未然に防ぎ、安全に正しくお使いいただくために重要な内容を記載しています。お使いになる前によくお読みになり、記載事項を必ずお守りください。

## ●表示の説明

	<b>警告</b> 取り扱いを誤った場合、死亡または重傷を負う可能性が想定される内容です。
	<b>注意</b> 取り扱いを誤った場合、障害を負う、または物的損害が発生することが想定される内容です。

## ●図記号の説明

					禁止（してはいけない内容）を示します。
					強制（実行しなくてはならない内容）を示します。

## 警告



**分解、修理や改造を絶対に行わない**  
発火・感電・けがの原因になります。

分解禁止

修理は、お買い上げの販売店または弊社サポートセンターにご相談ください。



**子どもだけで使わせたり、幼児の手の届くところで使わない**

禁止

やけど・感電・けがの原因になります。



水ぬれ禁止

**本体を水につけたり、水をかけたりしない**  
ショート・感電の原因になります。



禁止

**衣服や履物の洗浄のために、自分自身、または人に向けて使わない**  
けがの原因になります。



禁止

**人やペットに向けて使わない**  
死亡・けがの原因になります。



禁止

**水道水以外の物を使わない**  
ガソリン・灯油・40℃以上のお湯・塩分濃度の高い水・化学薬品・汚れた水・その他不適当な液体は使わないでください。事故・故障・けが・汚れの原因になります。



**各接続部が確実に接続されていることを確認する**  
接続が不十分だと、事故・けがの原因になります。



禁止

**水の圧力を確かめるため、噴射している水に手を当てる事は絶対にしない**  
高圧水が噴射しているため、けがの原因になります。



**噴射の方向に人・動物・壊れやすいもの、通電中の電気設備・機械本体などがいないことを確認してから作業する**  
けが・破損・事故の原因になります。



**製品に異常が発生した場合は、すぐに使用を中止する**

製品に異常が発生したまま使用を続けると、発煙・発火・感電・漏電・ショート・けがなどの原因になります。

<異常・故障例>

- ・電源コードや電源プラグがふくれるなど、変形、変色、損傷している
- ・電源コードの一部や電源プラグがいつもより熱い
- ・電源コードを動かすと通電したりしなかったりする
- ・本体がいつもと違って異常に熱くなったり、焦げ臭いにおいがする
- ・本体が作動しない

など

上記のような場合は、すぐに使用を中止し、電源プラグをコンセントから抜いて、お買い上げの販売店または弊社サポートセンターに点検・修理を依頼してください。



**部品は必ず専用のものを使う**  
故障・けがの原因になります。



禁止

**本体を不安定な場所に置かない**  
転倒によるけが・故障の原因になります。



禁止

**ホースを曲げたり、ねじったりした状態で使わない**  
過度な圧力で接続部が外れて、故障・けがの原因になります。



禁止

**火気や爆発物、可燃性ガスの近くで使わない**  
火災・けがの原因になります。



禁止

**車の足回りなどを洗浄するときは、グリス塗布部分やカバー部分に直接噴射しない**  
グリスなどが流れ落ち、損傷や重大事故の原因となるおそれがあります。



※ 洗浄は自己責任で行うこと。万一、洗浄対象物に変色確認などが生じた場合、もしくは正しく操作せずに、やけどやけがを負った場合、当社では一切の責任を負いません。

## 警告

### ◆ 電源コード・電源プラグについて ◆



ぬれ手禁止

ぬれた手で電源プラグの抜き差しをしない  
感電・けがの原因になります。



禁止

電源コードが傷んでいたたり、コンセントの  
差し込みがゆるいときは使わない  
感電・ショート・発火の原因になります。



電源プラグは根元まで確実に差し込む  
差し込みが不完全だと、感電や発熱による火災の原因に  
なります。



電源プラグの刃および刃の取りつけ面に付  
着したほこりはふき取る  
ほこりが付着していると、火災・感電の原因になります。



コンセントや配線器具の定格を超える使い  
方や、交流 100V 以外での使用はしない  
たこ足配線などで定格を超えると、発熱・発火・火災・感電・  
故障の原因になります。



禁止

使用中は電源コードを束ねない  
熱の逃げ場がなくなって電源コードが高温になり、発火  
の原因になります。電源コードはマジックテープから解い  
て、お使いください。



禁止

電源コード・電源プラグを破損するよう  
なことはしない

電源コードや電源プラグを以下のような状態で使うと、  
感電・ショート・火災の原因になります。  
傷つける、加工する、無理に曲げる、高温部に近づける、  
ねじる、引っ張る、重い物を載せる、挟み込む、コード  
ホルダーに強く巻きつける など



プラグを抜く

電源プラグを抜くときは、電源コードを持  
たずに必ず電源プラグを持って引き抜く  
感電やショートによる発火の原因になります。



プラグを抜く

使用後や点検・整備をするとき、長時間本機  
から離れるときは、必ず電源スイッチをオフ  
にし、電源プラグをコンセントから抜く  
やけど・感電・けがの原因になります。



延長コードは絶対に使わない



壁のコンセントは 2 口、3 口であっても、本製品をお使  
いの際は単独でお使いください。コンセントや電源プ  
ラグ・電源コードが異常発熱し、発火の原因になります。  
電源プラグをコンセントに差し込む前に、電  
源スイッチがオフになっていることを確認する  
電源プラグを差し込むと同時に電源が入り、ケガの原因  
になります。

## 注意

### ◆ 使用上の注意事項 ◆



禁止

バケットが空の状態でも運転しない  
故障の原因になります。



禁止

定格時間を超えて連続運転をしない  
定格時間 (60 分) を超えてお使いになる場合は、30 分以  
上休ませてから運転してください。故障の原因になります。



禁止

電源コードのみを持って本体を移動しない  
部品が外れて、けが・故障の原因になります。本体を移  
動するときは、取っ手を持って移動してください。



禁止

本製品は家庭用のため、業務用として使わない  
故障の原因になります。



禁止

不安定な場所では使わない  
転倒によるけがや故障の原因になります。



禁止

凍結する場所に保管しない  
故障の原因になります。



禁止

肌や目を露出した状態で使わない  
けがの原因になります。



禁止

水圧が不安定、異常に強いなどの場合は、  
すぐに使用を中止する  
高圧ホースに詰まりがあるおそれがあります。故障・け  
がの原因になります。



使用中は本体から離れない  
事故の原因になります。



使用後は本体および部品の水抜きを行う  
内部に水が残っていると、故障の原因になります。



スプレーガンを両手でしっかり持って使う  
片手では反動を抑えきれず、けがの原因になります。



高圧ホースを外すときは、電源プラグをコ  
ンセントから抜いてから、スプレーガンの  
運転レバーを握り、圧力を抜く  
圧力が残っていると、残水が高圧で噴射されてけがの原  
因になります。



運転レバーは手で握って操作する  
ロープやワイヤーなどで固定しないでください。非常時  
に噴射を停止できず、けがの原因になります。



禁止

不安定な姿勢で使わない  
転倒して、けがの原因になります。



禁止

車を洗浄するときは、ノズル先端を 50cm  
より近づけない  
ボディ・バンパー・タイヤなどの損傷の原因になります。



禁止

使用中に製品に物を掛けたり、物を近くに  
置いたりしない。  
故障・破損の原因になります。



禁止

壊れやすいものや不安定なものには使用し  
ない  
対象物損傷のおそれがあります。



対象物に損傷が生じるおそれがある場合  
には、目立たないところで試してから使用する  
ノズルから距離をおいて様子を見ながら洗浄するなど慎重に  
作業してください。対象物の破損や事故の原因になります。

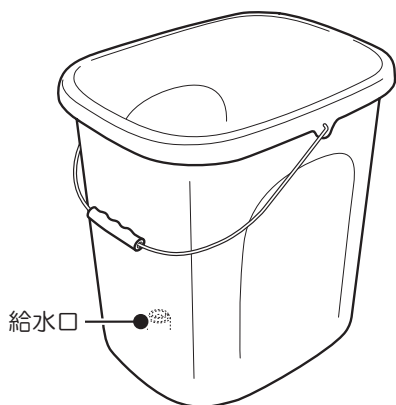


バケット内の水が「MIN」より下になる前  
に水を注ぎ足す  
そのまま使用し続けると故障の原因になります。

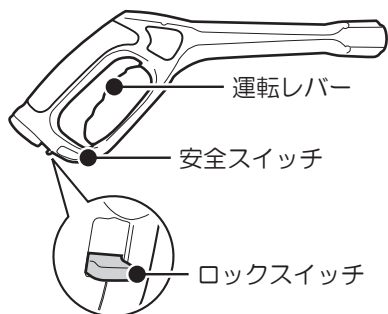
# 各部のなまえ

- 水道のない場所でも使える移動型の高圧洗浄機です。タイヤ付きのため、大量の水をかんたんに持ち運びできます。
- 洗剤を使わず、水圧だけで、多くの汚れを落とすことができます。

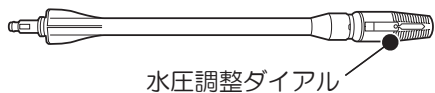
## バケツ



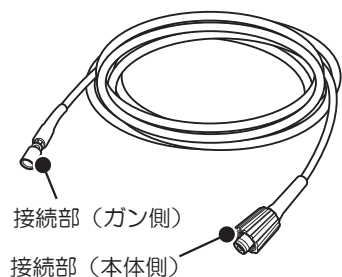
## スプレーガン



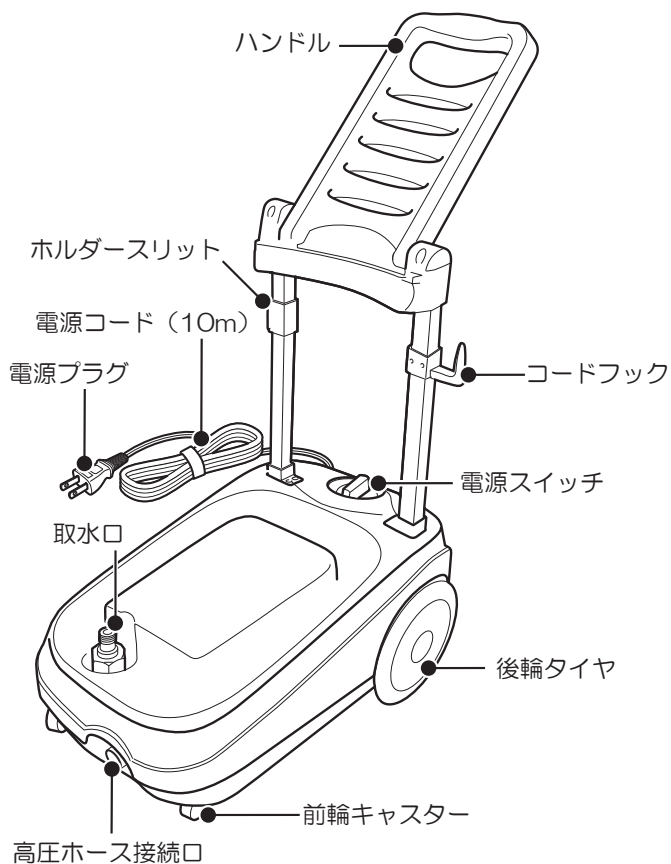
## ジェットノズル



## 高圧ホース (5m)

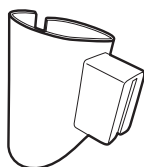


## 本体



## 付属品

ガンホルダー



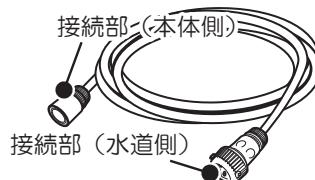
製品保護カバー



ノズル  
クリーナーピン



インレットパイプ (3m)





# お使いになる前の準備

## バケットに水を入れる

使用前に、バケットに給水します。バケットには最大で20リットルの水が入ります。無制限に水を噴射したい場合は、水道から直結で給水することもできます。

⇒水道からの給水については、11ページの「インレットパイプを使う」を参照してください。



※ バケットに水を入れる際は、必ず本体の電源をオフにし、電源プラグをコンセントから抜いてください。感電・やけど・けがの原因になります。

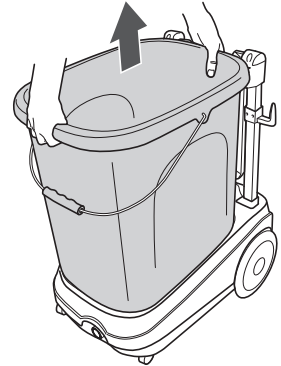
# 1

バケットを本体から取りはずす

- 図のようにバケットをしっかりと両手で持ち、持ち上げます。



※ バケットとともに本体が持ち上がらないように注意してください。故障や破損の原因になります。



お  
使  
い  
に  
な  
る  
前  
の  
準  
備

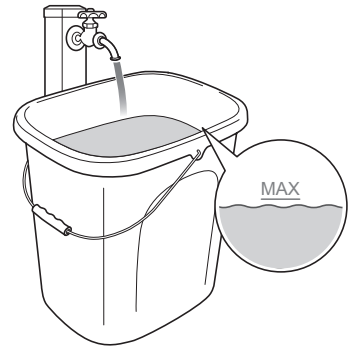
# 2

バケットに水を入れる

- バケット内側の「MIN」の目盛以上、「MAX」の目盛以下に水を入れます。
- 最大給水量（「MAX」の目盛）は20リットルです。



※ 水道水をお使いください。故障の原因になります。  
※ 洗剤やクレンザーなどを、水に混ぜて使用しないでください。



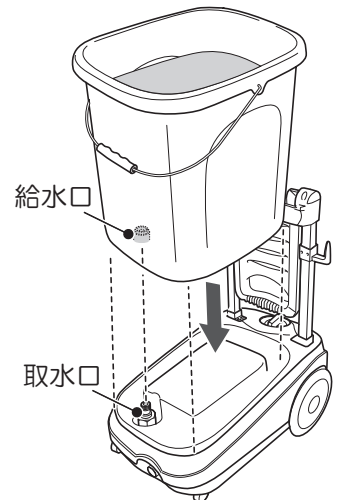
# 3

バケットを本体に取りつける

- バケットの給水口と本体の取水口の位置が合うように、向きを合わせてください。



※ 取りつけるときは、本体が動かないようにしてください。水がこぼれて故障の原因になります。  
※ 本体に水がかからないようにしてください。故障の原因になります。

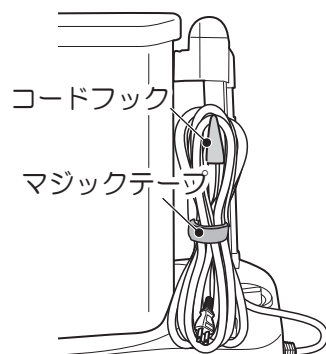


# 本体を移動する

バケットへの給水が終わったら、本体を使用する場所まで移動します。

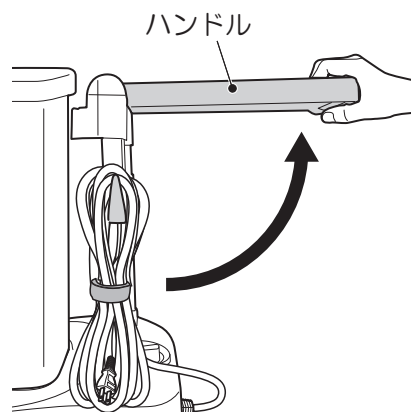
## 1 電源コードを本体のコードフックにかける

- 電源コードを付属のマジックテープで束ねて、図のようにコードフックにかけます。



## 2 ハンドルを持ち上げる

- 本体を移動するときは、ハンドルを持ち上げます。

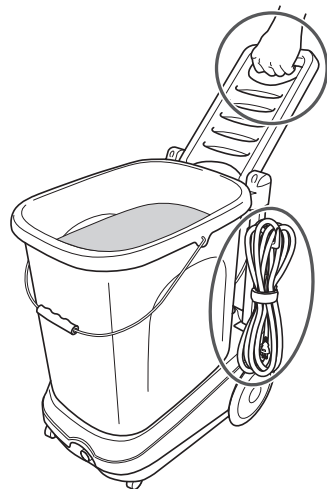


## 3 ハンドルを持って移動する

- バケットの水がこぼれないように注意しながら、目的の場所まで移動します。



- ※ 移動するときは、周りに人や物がないか確認してください。けがや故障の原因になります。
- ※ 泥や砂などでぬかるんだ地面では使用しないでください。
- ※ 段差や凹凸のある場所では転倒に注意してください。



## 4 ハンドルを下げる

- 移動時以外は、元の通りハンドルを下げてください。

# 呼び水を行う

本体内部のポンプに水を入れ（呼び水）ておくと、使用時にスムーズに水を噴射できます。使用前には、必ず呼び水を行ってください。



※ 高圧ホースを本体に取りつけない状態で呼び水を行ってください。突然水が噴射し、故障や感電、けがの原因になります。

## 1 電源プラグをコンセントに差し込む

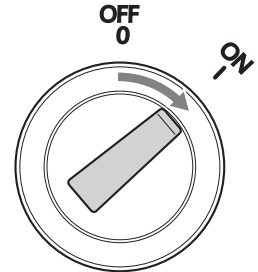
- 電源プラグは、コンセントの奥まで確実に差し込んでください。



※ 電源コードは、コードフックから取りはずし、マジックテープを解いてから、電源プラグをコンセントに差し込んでください。発火や故障の原因になります。

※ 濡れた手で、電源プラグを差し込まないでください。感電・ショート・故障の原因になります。

## 2 本体の電源スイッチを「ON」にする



## 3 高圧ホース接続口から水が出てくるのを確認する

- 本体内部のポンプが動き、バケットの水が本体の高圧ホース接続口から出てきます。
- 水を入れて少し待つと水が出てきます。



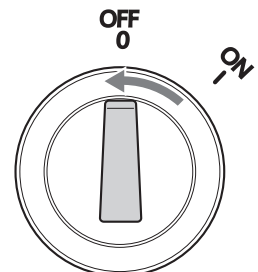
※ 高圧ホース接続口から水が出てくるまでに、時間がかかることがあります。

※ 長い間本製品を使用しなかった場合や、水抜きをした場合は、必ず呼び水を行ってください。

※ 電源スイッチを「ON」にしても水が出ない場合は、バケット底の給水口や本体内部のポンプに泥や汚れが付着している恐れがあります。13ページの「お手入れする」を参考にして汚れを落としてください。



## 4 本体の電源スイッチを「OFF」にする



# 高圧ホース・スプレーガンを取りつける

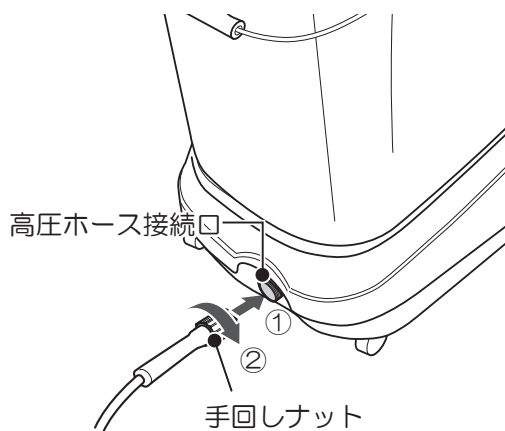
高圧ホースを本体とスプレーガンに取りつけます。スプレーガンは、ジェットノズルを取りつけます。

## 1 高圧ホースの接続部（本体側）を本体に取りつける

- ① 高圧ホースの接続部（本体側）を、本体の高圧ホース接続口の奥まで差し込む。
- ② 手回しナットを押し込みながら時計回りに回してしっかりと固定する。



※ 手回しナットはしっかりと固定してください。締めつけが弱いと、水漏れの原因になります。

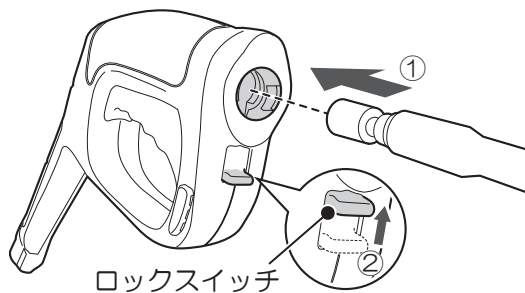


## 2 高圧ホースの接続部（ガン側）をスプレーガンに取りつける

- ① 高圧ホースの接続部（ガン側）を、スプレーガンの取り付け口の奥まで差し込む。
- ② スプレーガンのロックスイッチを図のようにロックする。



※ 必ずロックスイッチを使ってロックしてください。故障の原因になります。

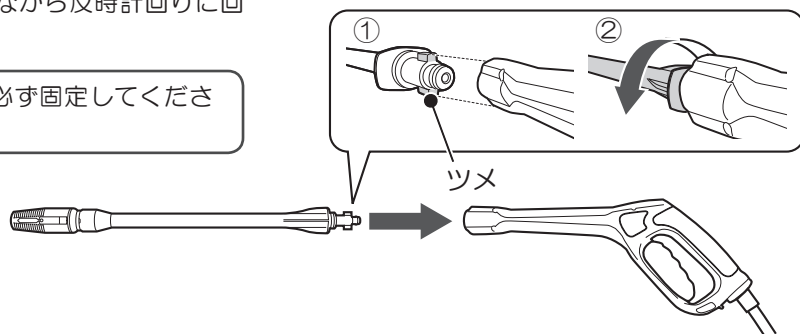


## 3 スプレーガンとジェットノズルを取りつける

- ① ジェットノズルの接続部のツメが上下になる向きで、スプレーガンの取り付け口に差し込む。
- ② ジェットノズルを押し込みながら反時計回りに回して固定する。



※ ジェットノズルは必ず固定してください。



# 使いかた



- ※ 電源プラグをコンセントに差し込む前に、本体の電源スイッチが「OFF」になっていることを確認してください。
- ※ 本製品をお使いになる際は、周囲に人や動物、壊れやすい物がないことを確認してください。死亡やけが、事故などの原因になります。
- ※ 使用前には、必ず「MIN」から「MAX」の目盛の間までバケットに給水してください。ただし、水道から直結する場合はバケットへの給水は不要です。

## 1 電源プラグをコンセントに差し込む

- 電源プラグは、コンセントの奥まで確実に差し込んでください。

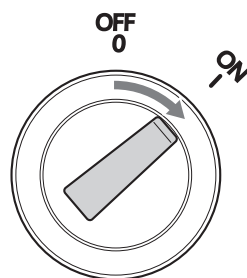


- ※ 電源コードは、コードフックから取りはずし、マジックテープを解いてから、電源プラグをコンセントに差し込んでください。発火や故障の原因になります。

## 2 本体の電源スイッチを「ON」にする



- ※ スプレーガンの安全スイッチは、必ずロック状態にして電源を入れます。水がいきなり吹き出し、けがの原因になります。

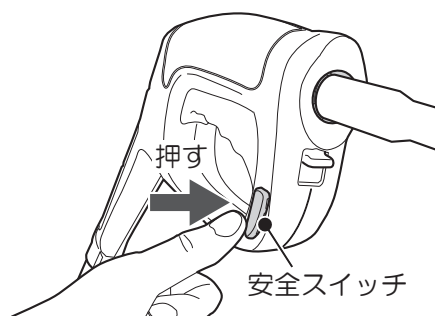


## 3 スプレーガンの安全スイッチのロックを解除する

- 図のように、スプレーガン背面から見て左側から安全スイッチを押すと、安全ロックが解除され、運転レバーが作動するようになります。



- ※ スプレーガンの運転レバーを握ったまま、ロックを解除しないでください。



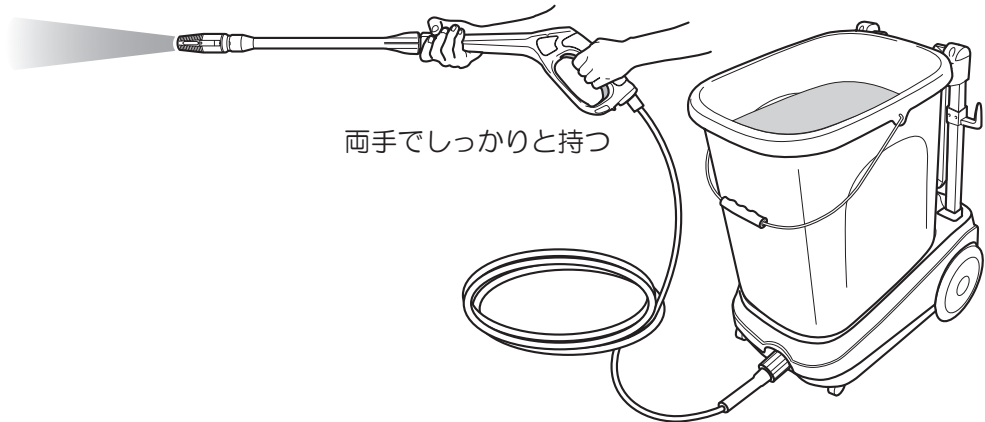


# 4 噴射する対象に向けてスプレーガンを持ち、運転レバーを握る

- スプレーガンは、図のように両手でしっかりと持ちます。



- ※ 噴射する先に、人や動物、壊れやすい物などがないことを確認してください。死亡やけが、事故の原因になります。
  - ※ 不安定な姿勢で運転しないでください。けがや事故の原因になります。
  - ※ 定格時間（60分）以上、連続して運転しないでください。定格時間を超えて運転する場合は、30分以上休ませてからお使いください。
  - ※ バケットの水が「MIN」の目盛以下になったら、一度運転を停止し、電源スイッチを「OFF」にしてから給水してください。給水せずに連続運転する場合は、インレットパイプをしまいませず。
- ⇒連続運転については、11ページの「インレットパイプを使う」を参照してください。



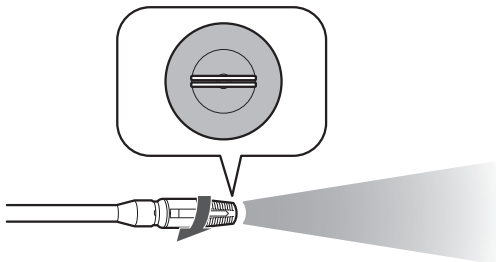
## 水圧を調整する場合は

- ジェットノズル先端の水圧調整ダイヤルを回すと、水圧を変えることができます。

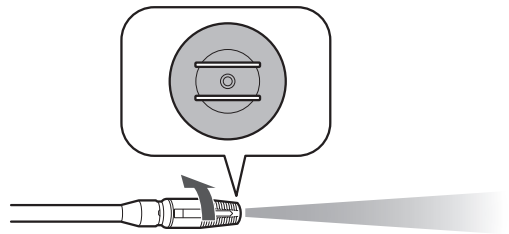


- ※ 水圧調節ダイヤルは、最後までしっかりと回します。
- ※ 低圧にすると噴射先が拡散されるのでご注意ください。

低圧・拡散



高圧・凝縮



# インレットパイプを使う

大量の水を使って洗浄するときには、インレットパイプを使って直接水道から給水すると、連続運転ができます。8ページの「高圧ホース・スプレーガンを取りつける」を参考にして接続が完了したら、インレットパイプを接続する前に、スプレーガンの安全スイッチがロック状態になっていることを確認してください。



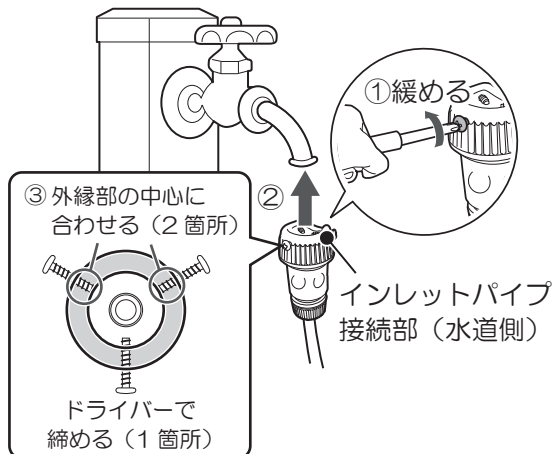
- ※ 連続運転する場合は、必ず水道の近くで使用してください。無理に本体を移動すると、インレットパイプが外れて、水漏れの原因になります。
- ※ インレットパイプは、内径 13mm の水道蛇口に取りつけてください。適合しない水道蛇口を使用した場合、水漏れ、部品の故障の原因になります。

## 1 インレットパイプを水道に取りつける

- ① インレットパイプの接続部（水道側）のネジ（3箇所）をドライバーで緩める。
- ② 接続部を水道の蛇口に取りつける。
- ③ 接続部のネジ（2箇所）を接続口の外縁の中心に合わせて、残りのネジ（1箇所）をドライバーで締める。



- ※ インレットパイプのネジはしっかりと固定してください。締めつけが弱いと、水漏れの原因になります。
- ※ 水道蛇口の向きを傾けないでください。向きを中央にしていない場合は、水漏れの原因になります。



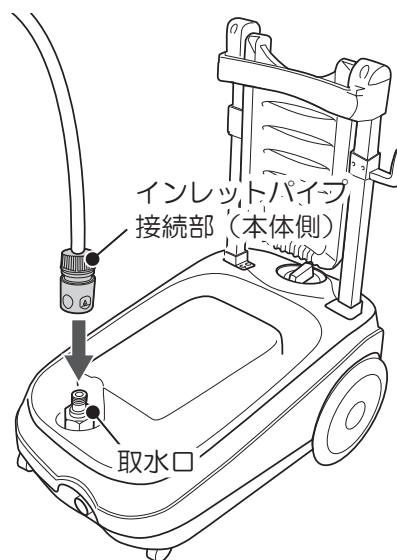
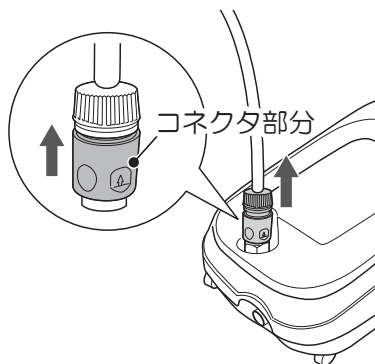
使いかた

## 2 インレットパイプを本体に取りつける

- インレットパイプの接続部（本体側）を、本体の取水口に取りつけます。
- 接続部（本体側）は、ワンタッチで取り付け、取りはずしができます。カチッとなるまで、しっかりと取り付けます。

### 接続部（本体側）を取りはずす場合は

- インレットパイプの接続部（本体側）は、コネクタ部分を持ちあげるだけで、かんたんに取りはずしができます。
- 取りはずす場合は、まず水道を止めてから、電源プラグをコンセントから抜いてください。水道を止めたあとは、水道側の接続部を取りはずしてパイプ内の水を排出してから、本体側の接続部を取りはずしてください。

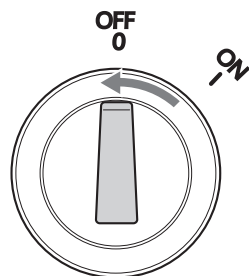


### 3 水道の蛇口を開く

- 以降の使用方法は、バケットを使った場合と同様です。  
⇒9ページの「使いかた」を参照してください。

## 運転を終了する

### 1 本体の電源スイッチを「OFF」にする

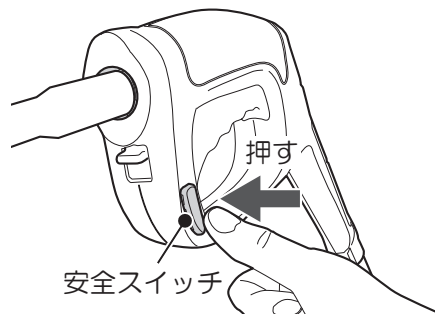


### 2 スプレーガンの水抜きをする

- 運転レバーを10秒ほど握り、スプレーガン内部の水抜きを行います。
- 水抜きを行うことで、高圧ホースを取りはずしやすくします。

### 3 スプレーガンの安全スイッチをロックする

- 図のように、スプレーガン背面から見て右側から安全スイッチを押すと、安全ロックがかかり、誤操作を防止できます。



※ 使用時以外は、必ず安全スイッチをロック状態にしておいてください。けがや事故の原因になります。

### 4 電源プラグをコンセントから抜く



※ 本製品を使用しないときは、必ず高圧ホース、スプレーガンを取りはずして保管してください。  
※ 高圧ホースを取りはずす前に、電源プラグをコンセントから抜いて、スプレーガンの運転レバーを握り、高圧ホース内部の圧力を抜いてください。  
⇒高圧ホースとスプレーガンは、8ページの「高圧ホース・スプレーガンを取りつける」を参照し、逆の手順で取りはずしてください。  
⇒本製品の保管のしかたは、14ページの「保管する」を参照してください。

# お手入れ／保管のしかた

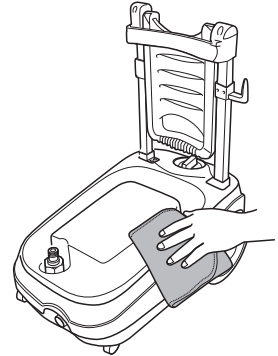


- ※ お手入れや保管は、電源を切って、必ず電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。
- ※ 本体に水をかけたり、水に浸したりしないでください。ショート・感電の原因になります。また、本体内部のモーター部に水が入ると、故障の原因になります。
- ※ バンジン・シンナー・アルコール・みがき粉は使わないでください。傷・変質・変色の原因になります。

## お手入れする

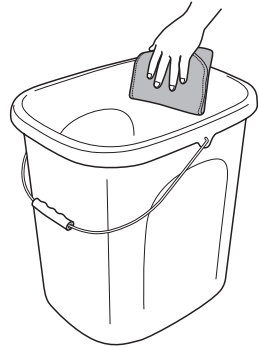
### 本体

- 乾いた柔らかい布で拭く。
- 汚れがひどい場合は、ぬるま湯か薄めた台所用中性洗剤をしみこませた布を固く絞って拭く。



### バケツ

- 水洗いをして、柔らかい布で拭く。
- バケツの水は、使用後は必ず廃棄してください。廃棄せずに保管すると、水アカやミネラル分が付着したり、カビや雑菌が繁殖して、異臭を発生したり、健康を害する原因になります。
- タンク内にゴミや砂などが入らないように注意してください。ゴミなどが入った場合は、内部を洗い流してください。
- バケツ底の給水口に泥や汚れがつくと、正常に水が出ないことがあります。

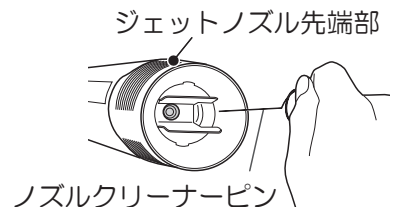


### スプレーガン、ジェットノズル、高圧ホース、インレットパイプ

- スプレーガンとジェットノズルを軽く振って、内部に残った水を排出する。



- ノズルクリーナーピンを使って、ジェットノズル先端の目詰まりを取りのぞく。ジェットノズル先端部に異物が詰まっていると、水の勢いが弱くなる原因になります。



## 保管する

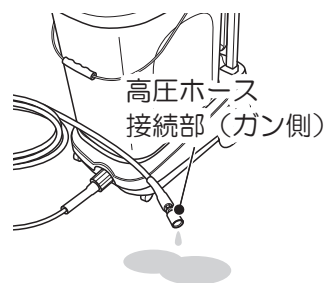
お手入れをした後、次の手順の通り保管します。

### 1 本体内部に残った水を排出する

- 高圧ホースの接続部（ガン側）を下に向けて、電源スイッチを「ON」にすると、本体内部に残った水が排出されます。

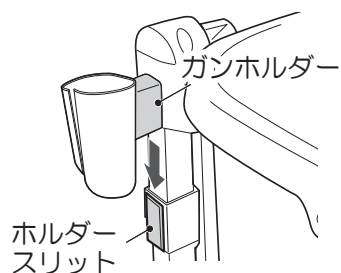


※ 本体内部に水が残ったまま保管すると、内部のポンプが凍結し、故障の原因になります。



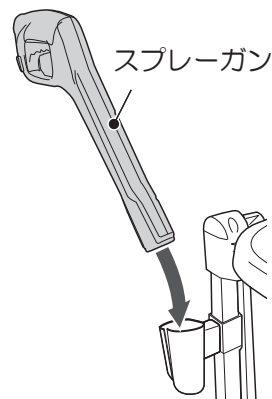
### 2 ガンホルダーを本体のスリット部に取りつける

- 図のように、ガンホルダーを上からまっすぐ取りつけてます。



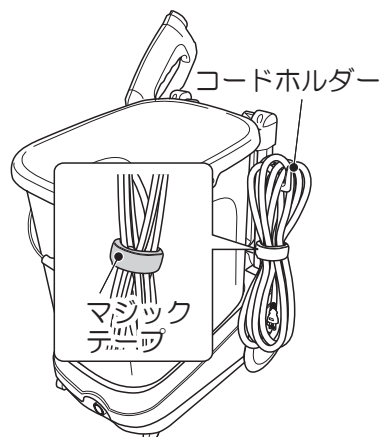
### 3 スプレーガンをガンホルダーに差し込む

- 図の向きで、スプレーガンをガンホルダーに差し入れます。



### 4 電源コードをコードホルダーに掛ける

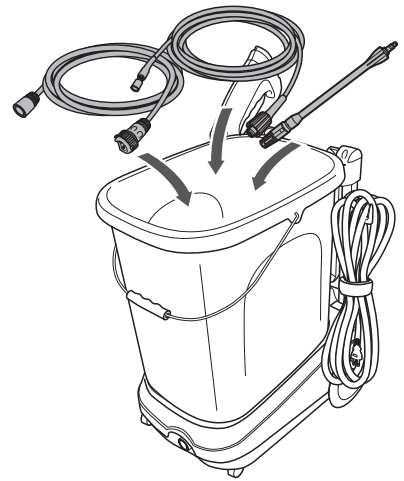
- 電源コードを束ねてマジックテープで留め、本体のコードホルダーに掛けます。





## 5 各パーツをバケットに入れて保管する

- ジェットノズル、高圧ホース、インレットパイプは、バケットに入れて保管できます。
- ほこりと湿気の少ない場所で保管してください。
- ※ 長期、または冬場に保管する場合は、13ページの「お手入れする」を参考にお手入れを行い、必ず高圧ホースを取りはずし、本体内部とともに水を切った状態で、凍結しない室内に保管してください。



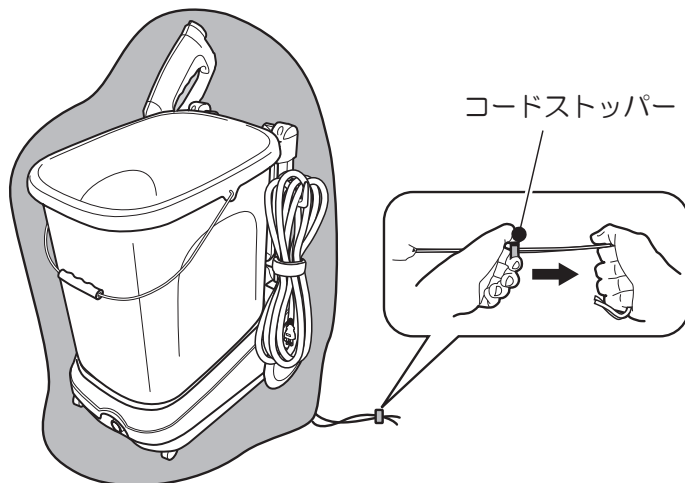
- ※ 下記を行わないでください。モーター・ポンプが壊れる原因になります。
- ・ 凍結した状態でスイッチを入れないでください。ポンプが壊れます。
- ・ ほこりがかかる場所に保管しないでください。ポンプに細かいほこり、粉塵などが入り、圧力が上がらなくなります。

### 長期間本体を保管する場合は

- 長期間本体を保管する場合は、付属の製品保護カバーを掛けて、直射日光の当たらない、涼しい場所で保管します。
- ※ 製品保護カバーを掛けたら、コードストッパーのボタンを押しながら、コードを引き、カバー口を締めます。
- ※ 製品保護カバーを掛けることで、本体の劣化を防ぐことができます。



- ※ 屋外で本体を保管する場合は、短期間であっても、必ず製品保護カバーをかけてください。雨水や直射日光に本体がさらされると、劣化や故障の原因になります。



# 故障かなと思ったら

修理を依頼する前に、ご確認ください。

こんなとき	原因	対策
運転しない。	電源プラグが抜けていませんか。	電源プラグをコンセントに確実に差し込んでください。
	停電していませんか。	運転中に停電した場合は、本体の電源を切って、 <b>電源プラグをコンセントから抜いてください</b> 。停電復帰後に、再び電源を入れてください。
	長時間、連続して運転したため、本体内部のモーターが過熱していませんか。	定格時間（60分）以上、連続して運転しないでください。電源が切れたときは、サポートセンターまでお問い合わせください。
	お湯を使っていませんか。	40℃以下の水道水を使ってください。
使用中、本体・電源コードが異常に熱くなる。	たこ足配線をしていませんか。	たこ足配線では使用しないでください。他の器具と併用すると、分岐コンセントが異常発熱して、火災・感電・故障の原因になります。
	電源プラグが抜けかけていませんか。	電源プラグを根元までコンセントに確実に差し込んでください。差し込みが不完全だと、感電や発熱による火災の原因になります。
	差し込み口が2口あるコンセントで、両方の差し込み口をお使いではありませんか。	コンセントの差し込み口が2口、3口であっても、本製品をお使いのときは単独でお使いください。
	電源コードの上に物を載せたり、無理に曲げていませんか。	電源コードの上に物を載せたり、無理に曲げないでください。電気の流れが悪くなり、ショート・発火の原因になります。
	電源コードをコードホルダーに巻いたり、束ねた状態で使っていませんか。	使用中は電源コードを束ねないでください。熱の逃げ場がなくなって電源コードが高温になり、発火の原因になります。
	電源プラグやコンセントに、ごみやほこりが付着していませんか。	定期的に、付着しているごみやほこりを拭き取ってください。
	コンセントがガタついたり、差し込みがゆるくありませんか。	お近くの電気店に、コンセントの修理を依頼してください。コンセントが老朽化している場合があります。
	電源プラグ・電源コードが傷ついたり、変形・破損していませんか。	サポートセンターに、修理・交換を依頼してください。

こんなとき	原因	対策
水が出ない。 水圧が弱い。	本体と、バケツ、高圧ホースなどは、正しく接続されていますか。	本体、バケツ、高圧ホースなどをしっかりと接続してください。
	スプレーガン、ジェットノズル、高圧ホースなどから水漏れが起きていませんか。	スプレーガン、ジェットノズル、高圧ホースなどをしっかりと接続してください。
	呼び水は正しく行いましたか。	運転前には、必ず呼び水を行ってください。 ⇒呼び水については、7ページの「呼び水を行う」を参照してください。
	ジェットノズルの先端部に異物が詰まっていますか。	ノズルクリーナーピンを使って、目詰まりを取りのぞいてください。 ⇒ノズルクリーナーピンについては、13ページの「お手入れする」を参照してください。
	バケツの水位が、「MIN」の目盛以下になっていませんか。	バケツに水を入れてください。 ⇒給水については、5ページの「バケツに水を入れる」を参照してください。
	本体内部のポンプに空気が混入していませんか。	ジェットノズルを外した状態で、30秒ほど放水してください。
	本体内部のポンプに水漏れや異物が混入していませんか。	本体内部を確認し、水漏れや異物が混入している場合は、サポートセンターまでお問い合わせください。
運転が突然停止する。	長時間、連続して運転したため、本体内部のモーターが過熱していませんか。	定格時間（60分）以上、連続して運転しないでください。電源が切れたときは、サポートセンターまでお問い合わせください。
	お湯を使っていませんか。	40℃以下の水道水を使ってください。
運転が突然開始する。	高圧ホースやインレットパイプから水漏れしていませんか。	高圧ホースやインレットパイプをしっかりと接続してください。
	本体内部のポンプに水漏れや異物が混入していませんか。	本体内部を確認し、水漏れや異物が混入している場合は、サポートセンターまでお問い合わせください。
高圧ホースが取りはずせない。	高圧ホースに圧力がかかっていませんか。	電源を切って、電源プラグをコンセントから抜いて、運転レバーを握ってください。
悪臭がする。	バケツがよごれていませんか。	定期的に、バケツを掃除してください。 ⇒お手入れのしかたについては、13ページの「お手入れ／保管のしかた」を参照してください。

## お客様の個人情報のお取り扱いについて

- ・株式会社オークセール（以下「弊社」）は、お客様の個人情報をお客様からの対応や修理およびその確認などに利用させていただき、これらの目的のためにご相談内容の記録を残す事があります。
- ・次の場合を除き、弊社以外の第三者に個人情報を提供することはありません。
  - (a) 修理やその確認 業務を委託する場合
  - (b) 法令の定める規定に基づく場合

## 仕様

品名	移動が楽な高圧洗浄機 AQUAMOOVE (APW-165)
サイズ (約)	幅 440 × 高さ 495 × 奥行 280mm
電圧	AC100V
周波数	50 / 60Hz
消費電力	1300W
重量 (約)	8.7kg (付属品をすべて含む)
電源コード長さ (約)	10m
バケット容量	20L
定格使用時間 (約)	60 分
常用水圧	6.5Mpa
常用水出量	300L/h
最大許容圧力	12Mpa
最大吐出水量	360L/h
付属品	バケット、高圧ホース、スプレーガン、ジェットノズル、ガンホルダー、インレットパイプ、ノズルクリーナーピン、製品保護カバー
生産国	中国



この製品は、日本国内用に設計・販売しています。日本国外では使用できません。海外での修理や部品販売などのアフターサービスも対象外となります。

# アフターサービス

## 保証書（裏表紙）

裏表紙に添付しています。お買い上げ日と販売店名の記入をご確認いただき、販売店からお受け取りください。保証書はよくお読みになり、大切に保管してください。

## 修理を依頼される時

取扱説明書の内容をご確認いただき、故障が疑われる場合には販売店、またはサポートセンターにお問い合わせください。

- 保証期間中（お買い上げ日から1年未満）の修理  
保証書の規定により、無料で修理いたします。商品に保証書を添えてお買い上げの販売店、またはサポートセンターまでご相談ください。
- 保証期間が過ぎている（お買い上げ日から1年以上）修理  
修理によりお使いになれる製品は、お客様のご要望により有料で修理いたします。お買い上げの販売店、またはサポートセンターまでご相談ください。

## 保証期間

お買い上げ日から1年間となります。

## 補修料金のしくみ

補修料金は技術料（故障した商品の修理および部品交換などにかかる作業料金）と部品代（修理に使用した部品の代金）などで構成されています。

## 補修部品について

補修部品は部品共通化のため、一部仕様や外観色などが変更となる場合があります。お客様ご自身での修理は大変危険です。絶対に分解したり手を加えたりしないでください。

# お客様相談窓口

アフターサービスについてご不明な場合は、サポートセンターまでお問い合わせください。

### 〈サポートセンター〉

TEL: 03-5413-6125

FAX: 03-5413-7558

E-mail でのお問い合わせ: info@aucsale.com

受付時間: 午前10時～午後5時

（土・日・祝祭日、年末年始および弊社指定休業日を除く）

### 〈修理センター〉

〒343-0032 埼玉県越谷市袋山648-5

株式会社オークセール

サポートグループ返品・修理センター

## サポートセンターからのお願い

- ・ 通話中の場合、しばらく経ってからおかけ直してください。
- ・ サポートセンターおよび修理センターの電話番号／FAX番号、住所は予告なく変更することがあります。予めご了承ください。